

第 5 3 期

# 報 告 書

平成24年 3月16日から  
平成25年 3月15日まで



株式会社 **スーパーステール**

株主の皆様へ

株式会社 スーパーツール

代表取締役社長 吉川 明

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社の第53期（平成24年3月16日から平成25年3月15日まで）の決算を終えましたので、ここに会社の現況及び諸計算についてご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申しあげます。

## 企業集団の現況

### 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、震災復興を背景とした景気回復機運から持ち直しの動きがありましたが、欧州債務問題が各国の実体経済に大きな影響を与え、とりわけ新興諸国経済の成長鈍化と為替の円高基調は対外経済環境の下振れ要因となりました。昨年末の政権交代以降は、経済政策への期待感から円高の是正、株価の上昇が見られましたが、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、高い競争力を備える製品群の充実、生産性の向上と技術優位性の強化に一層の努力を続けますとともに、お客様のニーズに合った製品の提案に注力し、アジア、中東、北米諸国の市場へ積極的にアプローチしてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は6,274百万円となりました。また利益面につきましては、販売体制の強化による売上高の増加と効率的な生産体制の推進及びコスト削減努力によって、営業利益は673百万円、経常利益は585百万円及び当期純利益は339百万円となりました。

事業別の概況は次のとおりであります。

#### 〔金属製品事業〕

作業工具では、長期にわたる震災復興需要に資するため、既存製品の見直しと魅力ある新製品開発に取り組むとともに、地域の需要動向に対応した営業活動や需要開拓活動を展開し、高付加価値製品の提案と安定受注に注力してまいりました結果、国内販売は好調に推移いたしました。

海外市場では、都市化と産業構造の高度化が進む新興諸国及び主要取引国向けで、概ね計画どおり推移いたしました。

産業機器では、構築物の耐震化に伴う改修事業、インフラ整備などにより堅調に推移したほか、自動車生産の回復による関連産業及び半導体、デバイス製造装置産業からのクレーン類の引合が活発化し、売上は順調に推移いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は4,566百万円となりました。

#### 〔環境関連事業〕

震災後、再生可能エネルギー発電施設の規模拡大とともに設備導入意欲の広がりが増速し、需要者の個別状況に応じた案件の具体化を推進してまいりました。

これらの結果、当事業の売上高は1,697百万円となりました。

#### 〔その他〕

その他は、兵庫県神戸市における不動産賃貸業であり、当事業の売上高は11百万円となりました。

## 事業別売上高

(単位：百万円)

事業	第52期 (前連結会計年度)		第53期 (当連結会計年度)	
	金額	構成比	金額	構成比
金属製品事業	4,359	90.4%	4,566	72.8%
環境関連事業	455	9.5	1,697	27.0
その他	11	0.2	11	0.2
消去	△4	△0.1	—	—
合計	4,822	100.0	6,274	100.0

### 対処すべき課題

当社グループは、常に変化する経済環境に対応し、原価低減と生産性の向上に取り組んでまいりますとともに、産業界の発展に寄与するため、より安全で作業効率性の高い製品開発に傾注し、企業価値の向上に努力してまいります。

主要事業である金属製品事業につきましては、国内市場では、機能性と付加価値の高い製品の拡販を意欲的に展開するとともに、広域にわたる復興関連事業に対応した訴求力のある製品を提供し、公共事業の実施により見込まれる防災、減災、老朽化対策工事など、新たな需要に対応してまいります。

また、市場変化に対応した製品開発の迅速化、ラインバランス分析による効率的な生産と徹底した品質管理体制を構築し、顧客価値の創造を高めてまいりますとともに、収益力の強化に努めてまいります。

海外市場では、アジア、南米などの新興国に景気減速感が見られるものの、当社グループ製品に対する信頼感により、積極的に市場の拡大に取り組んでまいりますとともに、顧客ニーズに最適な製品を供給してまいります。

環境関連事業につきましては、非住宅、事業用分野での導入拡大が見込まれる太陽光発電システムの拡販に注力し、コストバランスのとれた提案を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 財産及び損益の状況の推移

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第50期 (平成22年3月期)	第51期 (平成23年3月期)	第52期 (平成24年3月期)	第53期 (当連結会計年度) (平成25年3月期)
売上高(百万円)	—	—	4,822	6,274
経常利益(百万円)	—	—	360	585
当期純利益(百万円)	—	—	193	339
1株当たり当期純利益(円)	—	—	24.55	43.01
総資産(百万円)	—	—	9,362	10,288
純資産(百万円)	—	—	5,370	5,643
1株当たり純資産額(円)	—	—	677.91	714.53

- (注) 1. 第52期より連結計算書類を作成しているため、第51期までの状況については記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益は期中平均株式数に基づき、また、1株当たり純資産額は期末発行済株式数に基づき算出しております。なお、期中平均株式数及び期末発行済株式数については、自己株式数を控除して算出しております。

### ② 当社の財産及び損益の状況

区 分	第50期 (平成22年3月期)	第51期 (平成23年3月期)	第52期 (平成24年3月期)	第53期 (当事業年度) (平成25年3月期)
売上高(百万円)	3,237	3,846	4,366	4,577
経常利益(百万円)	137	318	458	506
当期純利益(百万円)	73	142	186	286
1株当たり当期純利益(円)	9.06	17.74	23.61	36.31
総資産(百万円)	8,950	8,533	8,809	9,087
純資産(百万円)	5,016	5,050	5,356	5,552
1株当たり純資産額(円)	617.70	639.23	677.98	703.00

- (注) 1株当たり当期純利益は期中平均株式数に基づき、また、1株当たり純資産額は期末発行済株式数に基づき算出しております。なお、期中平均株式数及び期末発行済株式数については、自己株式数を控除して算出しております。

# 連結貸借対照表

(平成25年3月15日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>5,044,769</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>2,503,501</b>
現金及び預金	810,900	支払手形及び買掛金	283,879
受取手形及び売掛金	1,601,226	短期借入金	1,370,000
商品及び製品	1,178,006	1年内返済予定の長期借入金	401,824
仕掛品	478,092	未払金	221,745
原材料及び貯蔵品	204,408	未払法人税等	137,898
前渡金	652,951	繰延税金負債	25,243
繰延税金資産	53,854	賞与引当金	47,000
その他	69,763	その他	15,910
貸倒引当金	△4,434	<b>固 定 負 債</b>	<b>2,141,381</b>
<b>固 定 資 産</b>	<b>5,243,826</b>	長期借入金	774,314
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>4,751,828</b>	再評価に係る繰延税金負債	1,190,288
建物及び構築物	358,951	退職給付引当金	118,388
機械装置及び運搬具	170,774	その他	58,391
土地	4,171,371	<b>負 債 合 計</b>	<b>4,644,883</b>
建設仮勘定	19,734	<b>純 資 産 の 部</b>	
その他	30,997	<b>株 主 資 本</b>	<b>3,741,690</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>12,885</b>	資本金	1,463,274
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>479,112</b>	資本剰余金	342,076
投資有価証券	382,574	利益剰余金	2,016,165
繰延税金資産	64,661	自己株式	△79,824
その他	43,649	その他の包括利益累計額	1,902,021
貸倒引当金	△11,774	その他有価証券評価差額金	37,747
<b>資 産 合 計</b>	<b>10,288,595</b>	繰延ヘッジ損益	38,777
		土地再評価差額金	1,825,497
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>5,643,712</b>
		<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	<b>10,288,595</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(平成24年3月16日から  
平成25年3月15日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		6,274,897
売 上 原 価		4,514,113
売 上 総 利 益		1,760,784
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,087,603
営 業 利 益		673,181
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	7,869	
そ の 他	12,130	20,000
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	20,299	
売 上 割 引	78,579	
そ の 他	8,988	107,866
経 常 利 益		585,314
特 別 利 益		
補 助 金 収 入	15,000	15,000
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 売 却 損	11,163	
固 定 資 産 圧 縮 損	15,000	26,163
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		574,150
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	240,763	
法 人 税 等 調 整 額	△3,358	237,405
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		336,744
少 数 株 主 損 失 ( △ )		△3,002
当 期 純 利 益		339,747

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の株式に関する事項（平成25年3月15日現在）

### 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 8,245,480株（自己株式347,014株を含む。）  
 (3) 株主数 1,364名  
 (4) 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
竈 和 夫	406千株	5.14%
有 限 会 社 キ ョ ウ リ ツ	350	4.43
竈 志 摩 子	239	3.03
竈 利 英	227	2.87
竈 圭 人	205	2.60
濱 中 ナ ッ ト 販 売 株 式 会 社	189	2.39
松 井 房 子	178	2.25
吉 川 明	178	2.25
ス ー パ ー ツ ー ル 従 業 員 持 株 会	174	2.21
株 式 会 社 池 田 泉 州 銀 行	170	2.15

（注） 持株比率は、自己株式（347,014株）を控除して算出しております。

## 使用人の状況（平成25年3月15日現在）

### ① 企業集団の使用人の状況

使用人数	前連結会計年度末比増減
102名	5名増

- （注） 1. 使用人数は就業員数であります。  
 2. 使用人数には契約社員40名及びパートタイマーの期中平均人員42名を含んでおりません。

### ② 当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
101名	4名増	38.8歳	13.0年

- （注） 1. 使用人数は就業員数であります。  
 2. 使用人数には契約社員37名及びパートタイマーの期中平均人員41名を含んでおりません。

# 会社の概況（平成25年3月15日現在）

設立 昭和35年12月10日（創業 大正7年）

資本金 1,463,274,000円

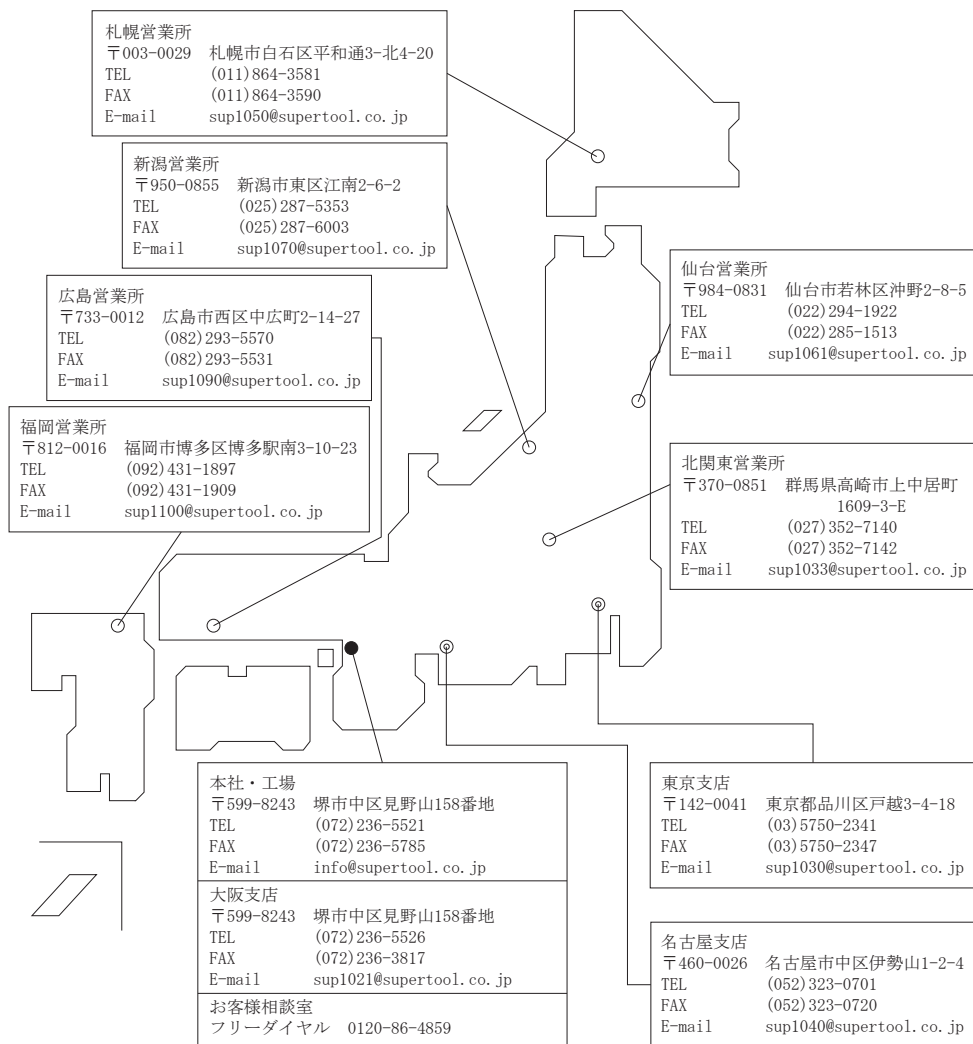
## 主要な事業内容

事業区分	製品群	主要製品名
金属製品事業	作業工具	
	レンチ、スパナ、プライヤ類	ラチェットレンチ、安全ロープ、ギアレンチ、コンビネーションレンチ、めがねレンチ、モンキレンチ、ラチェットモンキー、シャコ万力、緊結金具、スナップリングプライヤ、グリッププライヤ、ウォーターポンププライヤ、長ねじカッター、スーパーカッター、トグルクランプ、L型クランプ、六角棒レンチ
	配管工具類	スーパートンガ、パイプレンチ、ベルトレンチ、チューブカッター、パイプカッター、チューブベンダー、油圧式パイプベンダー、フレアリングツール、ツバ出し工具、チューブリーマ、モーターレンチ、ラチェット式モーターレンチ、クイックレンチ、塩ビカッター、パイプ挿入機、トルクレンチ
	プーラ類	ギヤプーラ、パワープーラ、アマチュアベアリングプーラ、ベアリングプーラ、セパレータ、プッシュプーラ、ショックスピードプーラ、自動車用プーラ、スライドプーラ、油圧プーラ、ギヤプーラオートグリップ型
	産業機器	
	治工具類	治具ブロック、治具プレート、精密パイプ、真空チャック、平行台セット、マグネット付平行台セット、精密バラレル、クランピングツール、クランプパーツ、スクリューサポート、切削式・転造式ローレットホルダー、ローレット駒、マイクロエアグラインダー、超硬バー、バイトホルダー、各種バイト
	吊クランプ類	〔鋼材用〕 立吊クランプ、横吊クランプ、形鋼クランプ、スクリューカムクランプ、スーパーロックフック、吊フック、ドラムリフトクランプ、鉄筋立吊クランプ、ビームクランプ、各種天秤、コイル吊クランプ、その他特殊吊クランプ 〔コンクリート2次製品用〕 U字溝吊クランプ、間知ブロックまとも吊クランプ、各種コンクリート2次製品用吊クランプ 〔ハウジング用〕 パネル吊クランプ、木質梁専用吊クランプ、2×4パネルプーラ、2×4パネル専用吊クランプ、ALCパネル・押出成形板吊クランプ
	クレーン類	ジブクレーン（床固定式、柱取付式、移動式、移動伸縮式）、荷重センサー付クレーン、アームスライド式クレーン、ポータブル門型クレーン、フリークレーン、マルチクレーン、クリーンルーム仕様クレーン 〔その他特殊クレーン〕 天井走行フォークリフト型クレーン（ワークスパイダー）、天井走行型クレーン、壁面走行型クレーン
マグネット類	〔サニタリー用〕 高磁力マグネットバー、超高磁力マグネットバー、高磁力マグネットバー（二重管） 〔工作機械、工場用〕 マグスラッジクリーナー、マグバー、マグペンバー、標準型マグネット棒	
環境関連事業	太陽電池モジュール	太陽電池モジュール単結晶（PANDA265、PANDA315NH）、多結晶（YGE240/YGE245、YGE290NH）、太陽光パネル、パワーコンディショナー、架台等

（注） その他として、不動産賃貸業を営んでおります。



# 営業サービスネットワーク



## 役員（平成25年6月7日現在）

代表取締役社長	吉川	明
常務取締役（営業本部長）	大久保	勲
取締役（上席執行役員西部統括部長）	木村	章
取締役（上席執行役員技術開発部長）	川口	保次
取締役（上席執行役員東部統括部長）	中村	滋
取締役（経理部長）	平野	量夫
常勤監査役	竈	和夫
監査役	森田	茂
監査役	松本	司

（注）監査役森田 茂、松本 司は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月15日
中間配当金受領株主 確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電 話 0120-094-777（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.supertool.co.jp">http://www.supertool.co.jp</a> （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に 公告いたします。）
単 元 株 式 数	1,000株

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。